

幅広い殺虫効果 抵抗性害虫にも いもち病にも。 新時代の 農薬、登場!



多様な害虫に効果を示す新しい殺虫剤「アレス」に、
いもち病防除に長年の実績がある殺菌剤「スタウト」を配合。
播種前から移植時まで使用できる、使いやすい農薬です。

**有効成分が
幅広い害虫に**
Oxazosulfyl
オキサゾスルフィル

- 主要害虫防除も、いもち病防除も、これ一つでOK
- 既存の殺虫剤に抵抗性を持った害虫にも効く
- 幅広い害虫に高い効果を発揮
- 育苗時の使用で効き目長持ち

さまざまな病害虫に効く



いもち病

トビイロウンカ

ヒメトビウンカ

コブノメイガ

イネドロオイムシ

イネミズゾウムシ

コバネイナゴ



水稻育苗箱用殺虫殺菌剤

スタウト アレス[®]

箱粒剤

YouTubeで動画公開中▼



スタウトおよびアレスは住友化学(株)の登録商標

スタウトアレス[®] 箱粒剤

有効成分：オキサゾスルフィル…2.0% イソチアニル…2.0%

殺虫剤分類	—
殺菌剤分類	P3

特長

- ① 既存の殺虫剤に抵抗性を持つ害虫にも高い効果
- ② 1つの殺虫成分で幅広い害虫に優れた効果
- ③ いもち病にも高い効果
- ④ 播種前（床土混和・覆土混和）から移植時まで使用可能

**有効成分が
幅広い害虫に
Oxazosulfyl
オキサゾスルフィル**

2022年4月現在の登録内容

適用病害虫および使用方法

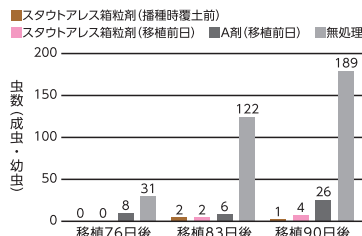
作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキサゾスルフィルを含む農薬の総使用回数	インシアニルを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ニカメイチュウ	1kg/10a	移植時	1回	側条施用	1回	3回以内 (直播ではは種時又は 移植時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)
稲 (育苗箱苗)	いもち病、白葉枯病、もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内類褐変病、イネミズゾウムシ イネドロオウムシ、ウンカ類 ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウ フタオビコヤガ、イネツトムシ コブノメイガ、イナゴ類 イネヒメハモグリバエ	育苗箱(*)1箱当り50g	は種前		育苗箱の床土 又は覆土に 均一に混和する		3回以内 (移植時までの処理は 1回以内、 本田では2回以内)
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(*)1箱当り50～100g)					
		育苗箱(*)1箱当り50g	は種時(覆土前) ～移植当日		育苗箱の上から 均一に散布する		
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(*)1箱当り50～100g)					
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱(*)1箱当り50g	は種前		育苗箱の床土 又は覆土に 均一に混和する		
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(*)1箱当り50～100g)					
		育苗箱(*)1箱当り50g	は種時(覆土前)		育苗箱の上から 均一に散布する		
高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(*)1箱当り50～100g)							

*: 30×60×3cm、使用土壌約 5L

試験成績

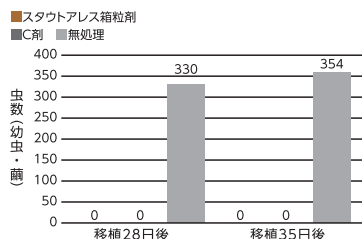
■ウンカ類(トビイロウンカ)

試験場所：鹿児島県農業環境協会
植物防疫部会(2016年)
品 種：ヒノヒカリ
播 種 日：5月27日
移 植 日：6月17日
処理時期：播種時覆土前および移植前日
発生状況：少発生
調 査 日：9月1日(移植76日後)、
9月8日(移植83日後)、
9月15日(移植90日後)
調査方法：計120株について粘着板への
拡落し法で虫数を調査。



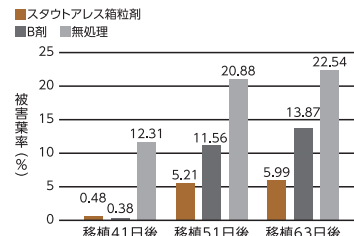
■イネドロオウムシ

試験場所：日本植物防疫協会
山梨試験場(2017年)
品 種：コシヒカリ
播 種 日：4月28日
移 植 日：5月19日
処理時期：移植当日
発生状況：中発生
調 査 日：6月16日(移植28日後)、
6月23日(移植35日後)
調査方法：計200株について虫数を調査。



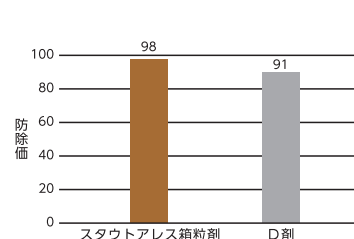
■コブノメイガ

試験場所：日本植物環境コンサルティング
株式会社 長崎水田(2020年)
品 種：なつほのか
播 種 日：5月11日
移 植 日：6月9日
処理時期：移植当日
発生状況：多発生
調 査 日：7月20日(移植41日後)、
7月30日(移植51日後)、
8月11日(移植63日後)
調査方法：計300株について被害葉数を
調査し被害率を算出。



■いもち病(葉)

試験場所：青森県産業技術センター
農林総合研究所(2017年)
品 種：ゆめあかり
播 種 日：4月17日
移 植 日：5月22日
処理時期：播種時覆土前
発生状況：葉いもち、多発生(接種)
調 査 日：7月26日(移植65日後)
調査方法：各区30株について発病株数
および所定基準に基づいた
病斑面積率別株数を調査し、
そこから算出した病斑面積率の
平均値より防除値を算出。



注意事項

〈薬効・薬害等の注意〉

- 本剤を床土または覆土に混和する場合、処理後速やかに使用してください。また、本剤を処理した床土または覆土を放置しないでください。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの葉量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきをしていねいに行い、移植後田面が露出しなないように注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないでください。

- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透を避けてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

〈安全使用上の注意〉

- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いは十分に注意してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に入流しないよう水管理に注意してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空袋・空容器は農場等に放置せず適切に処理してください。

04R4D22S143:HP

2022年4月作成(博報堂プロダクツ)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP



住友化学



動画
チャンネルは
こちら！

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号
お客様相談室 0570-058-669
農業支援サイト <https://www.i-nouryoku.com>



住友化学アグロ事業部